

国際情勢報告 ヨーロッパに おける 福祉機器



①

ヨーロッパの 福祉機器市場の 現状と今後の傾向



クリスチャン・カーステンセン氏
Mr. Christian Carstensen
H.C.R. EUROPEコーディネーター
元ROPOX社(デンマーク)マーケティング部長

ヨーロッパでは、高齢化の進展とともに介護・福祉分野のマンパワーの確保が困難になるなか、福祉機器市場が拡大しています。

ここでは、北欧や英国のようなヘルスケア分野(医療や福祉、介護の統合)をリードする国々が存在し、さらに、EUの拡大という国境を越えたグローバル化した市場が存在しています。先にご紹介した市場経済を基本とするアメリカの福祉機器市場(H.C.R. 2005 NEWS No.1~3)とは異なった特徴をもっています。

今回、本誌では、長らくデンマークのROPOX社に勤務し、ヨーロッパの福祉機器およびその市場に精通したクリスチャン・カーステンセン氏にヨーロッパの福祉機器市場の現状と今後についてレポートをお願いいたしました。

ヨーロッパでは障害者の社会参加を目指した努力が行われている。実際に障害者が社会参加しようとする場合、重要になるのは福祉機器の適切な供給である。つまり、障害を持つ個人の真のニーズに応じた福祉機器を選び、費用の面でも負担が少ないものにするのが重要になってくる。

福祉機器とは、障害を持つ人々の機能的な能力の維持、拡大、改善のために使用される製品、装置、機器のことをいう。障害者の機能的な限界を補い、雇用やトレーニングなどを含む日常の活動への参加を可能にするものである。

福祉機器の利用者数は増加している。ヨーロッパでは、高齢化や、機器自体の継続的な技術開発によって、今後10年間で福祉機器の利用や支出も大幅に増加するであろう。福祉機器市場は近い将来、大きく成長することが予想される。

福祉機器の広い利用によって、今後はQOLが向上し、さらに新たな要望が出てくるだろう。障害者に有益な機器改良の推進、さらには市場の改革や発展に関する積極的なフィードバック・ループが継続する中で、新たな発展への要求が出てくる。

現在、すでに20,000種以上の福祉機器が、300億ユーロを超える規模の市場に出ているとみられている。さらに社会の高齢化によって、障害がある人の数も、2020年までには現在の11%から17%に増加すると考えられている。福祉機器は、家族や友人からの援助や、障害者の権利や機会平等の保障を目的とした施策を補うという点で、障害者関連の分野では大きな役割を持っている。

介護従事者の健康と安全に 関係する福祉機器

ヨーロッパでは、介護従事者の健康と安全が大きな問題となっている。ヨーロッパの関連機関では、保健、高齢者ケア分野などさまざまな事業において、この問題の改善を進めている。現在、福祉機器の導入は、保健、高齢者ケアに従事する人の労働条件改善のための一手段と見なされている。例えば人力によるリフティングの回数は、リフト関連機器の導入によって、過去15年間で大きく減少した。

一般的な市場の特徴

ヨーロッパの福祉機器市場の規模は巨大である。しかし、メーカーや販売業者のほとんどは中小企業である。補聴器や車いすなど、大量生産製品に関わるメーカーや販売業者は例外で、大規模な企業が多い。福祉機器市場に属する企業は、地理的にも領域的にも大変ばらつきがある。

ヨーロッパの福祉機器市場は、基本的には開かれた市場であると考えることができる。福祉機器を輸出するのは他の製品ほど難しいことではない。

製品の提供・入手条件に関する 主な意志決定者

ヨーロッパにおける福祉機器供給に関するシステムは、健康保険会社や地方・地域の行政、ケアプロバイダが機器に関する規制やエンドユーザーへの供給において、次第に決定的な影響力を持つようになっていく。このような保険会社や行政は、直接メーカーや販売業者と契約を結ぶ。したがって、製品の選択に大きな影響力を持っている。

製品の選択には品質、耐性、使いやすさが重要になってくる。一方、障害者に対する福祉機器供給にかかる公共支出が毎年増加しており、価格も重要であることを忘れてはならない。

情報提供と相談

情報提供は、福祉機器供給の中でも最優先でかつ極めて重要な要素である。このことはエンドユーザー、処方者、評価者、仲介機関、メーカー、販売業者、資金供給機関など、どの立場から見ても同様である。

一般的に、現在利用できる製品情報は製品の仕様、例えば寸法や技術的な説明、デザイン、価格構成などをまとめたものである。どの国にもカタログがさまざまな形で存在するが、内容はそれぞれ大きく異なっている。その機器が設計された目的である問題や、機能的特徴に焦点を当てており、簡単な製品説明ではなくなっている。

現在、ヨーロッパにおける全福祉機器の製品情報のデータベースを構築中である。このデータベースは高齢者や障害者はもちろん、専門家やメーカーを対象にしたものである。

医療機器に関する指令 —CEマーク

医療機器分野は、欧州委員会が広範囲の製品を対象として出した指令に基づいている。福祉機器はこの医療機器指令の適用内に入る。

医療機器には3つの指令があり、それぞれ1990年、1994年、1998年に採択され、EU加盟国の医療機器について初の、統一された完全な法的枠組みを設定している。

このシステムは技術の調和に向けた新しい取り組みを基本としており、最高レベルの安全性の確立や地域の市場へのアクセス、革新の推進などを目標としている。

各指令はすべてのEU加盟国で採用されている。指令の中には自由貿易に関する条項があり、CEマーク表示製品が各国内で市場に出る際、加盟国はこれを妨げてはならないとされている。

いったんCEマーク表示が認可されると、EU加盟国はこの製品が市場に持ち込まれることを認めなければならない。

〈続く〉

